第２回　蓄電池産業戦略推進会議

電池エコシステム構築に向けた取組報告

BASC

電池サプライチェーン協議会
2024年11月19日

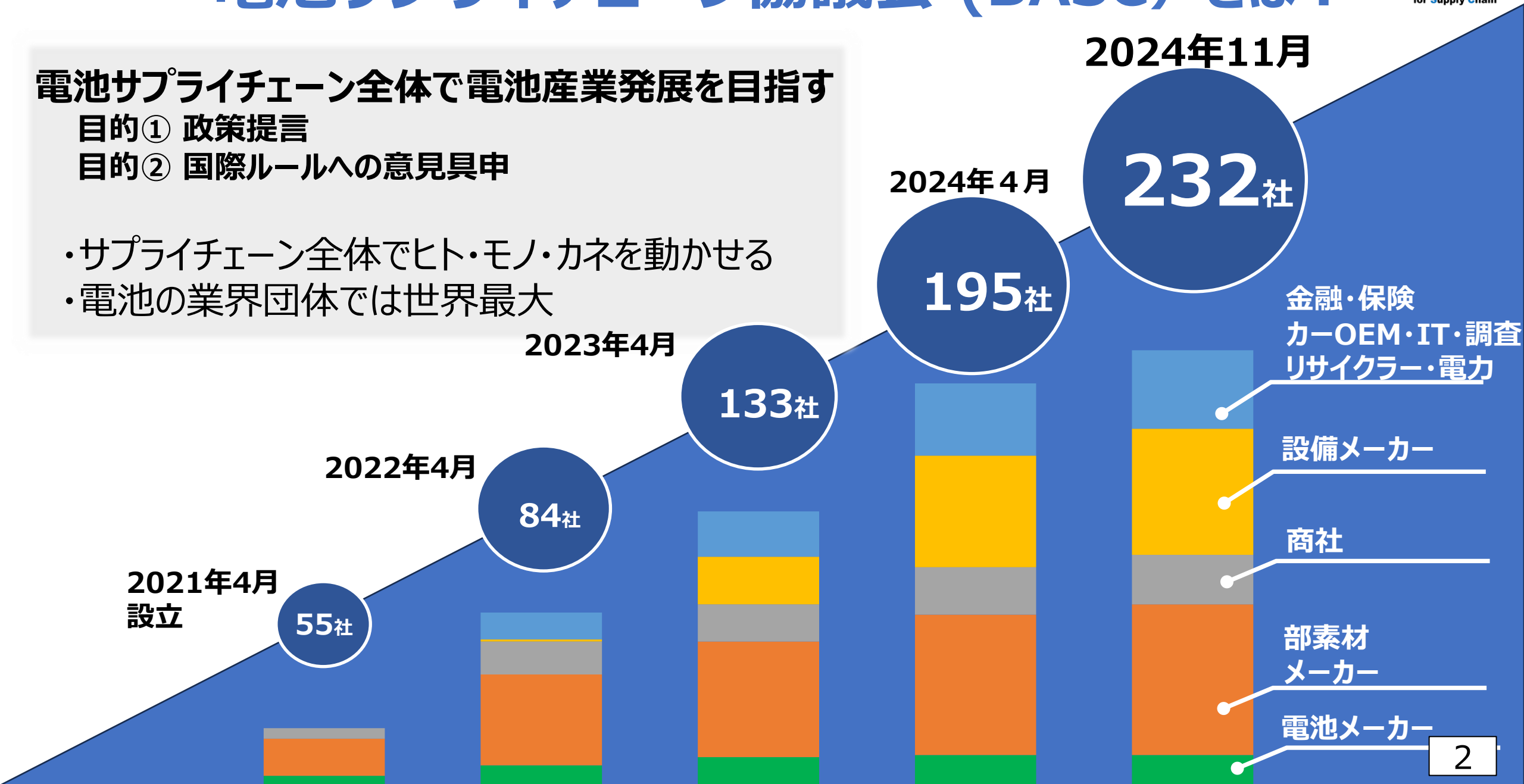
電池サプライチェーン協議会（BASC）とは？

BASC
Battery Association for Supply Chain

電池サプライチェーン全体で電池産業発展を目指す

目的① 政策提言
目的② 国際ルールへの意見具申

・サプライチェーン全体でヒト・モノ・カネを動かせる
・電池の業界団体では世界最大



電池エコシステム構築に向けた主な取組

BASC
Battery Association for Supply Chain

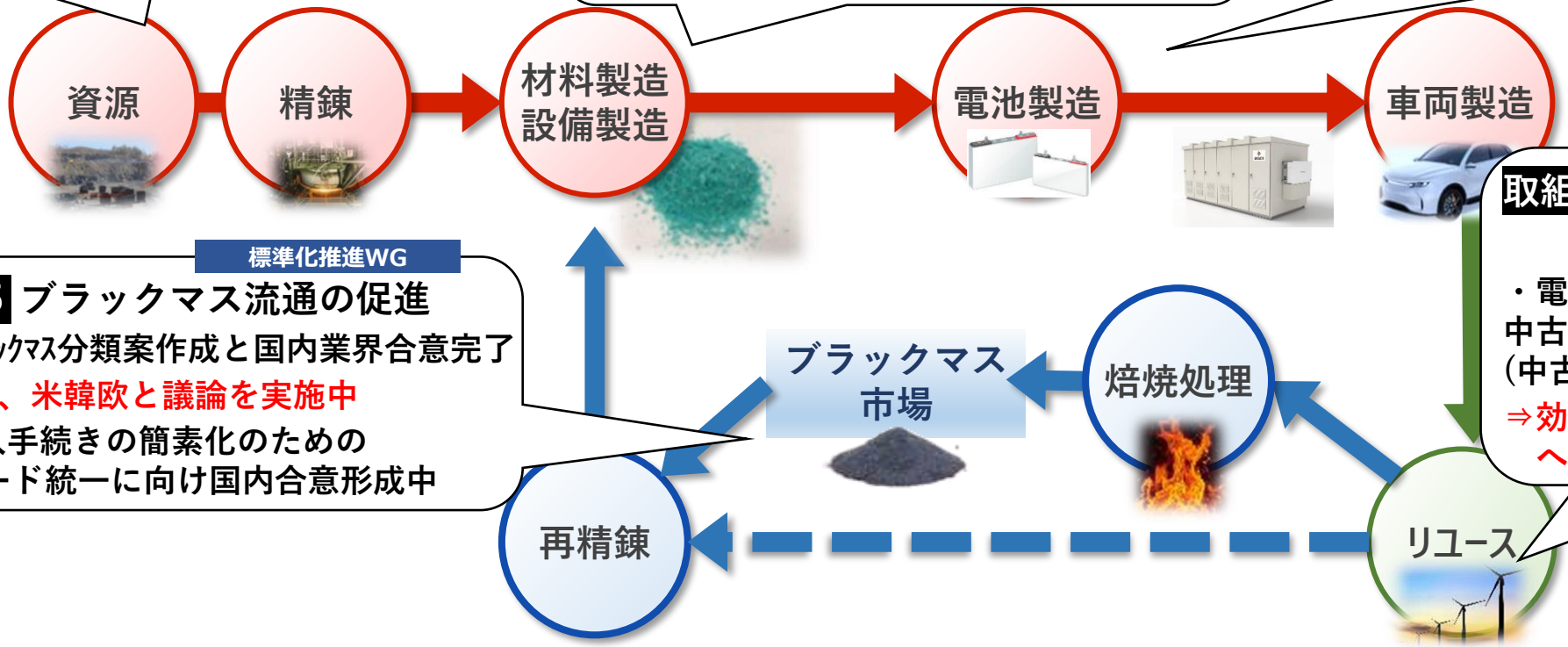
電池資源戦略検討TF

取組 1 安定した資源・精錬の確保
・Li,Ni等の確保に向け取組中
⇒安定したSCの構築の加速が必要

設備SC強化TF

取組 2 電池製造設備の競争力向上
・設備ガイドライン作成は順調に進捗
⇒更なる競争力向上に向けた取組や業界構造変革については今後検討

取組 3 電池・部素材・設備製造への積極投資
・目標150GWhに対し120GWhまで進捗
⇒海外も含めた引き続きの投資の促進が必要



BaaS拡大TF

取組 4 中古車・リユース電池の国内流通促進
・電池価値の見える化をし、中古電池の循環を図る事業実証に着手（中古BEV保険・小型ﾓﾋﾞﾘﾃｨ等）
⇒効果確認と日本版電池パスポートへの反映

標準化推進WG

取組 5 ブラックマス流通の促進
① ﾌﾞﾗｯｸﾏｽ分類案作成と国内業界合意完了
⇒現在、米韓欧と議論を実施中
② 輸入手続きの簡素化のためのHSコード統一に向け国内合意形成中

支える土台

電池デジタルスキームTF

取組 6 電池価値向上に向けた情報流通整備
・電池情報流通ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ運営組織ABtCへの参画
・日本版電池パスポートの仕様を議論中
⇒'25/3を目標に具体的仕様を提案

取組 7 電池人材育成・確保スキームの構築
・産学官でカリキュラムを作成し、高校・高専等25校で授業実施
⇒関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの全国展開を推進
・電池講習会新規参入の後押し（5都市、計138社参加）
・CEATECによる電池業界認知向上、JobFairの実施

参考：BASC政策提言2024【概要】https://www.basc-j.com/upfile/news/000/00051_221840d8fc26.pdf

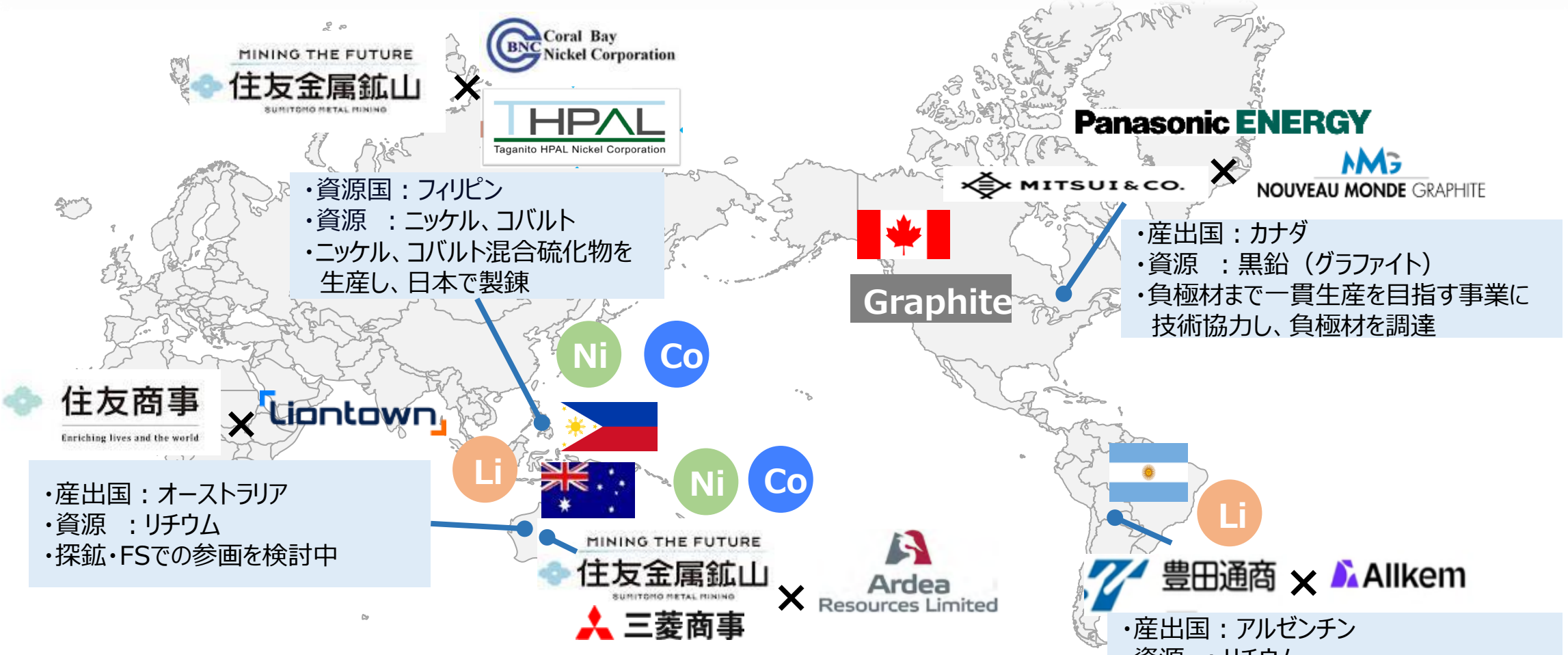
参考資料

取組 1

安定した資源・精錬の確保

BASC Battery Association for Supply Chain

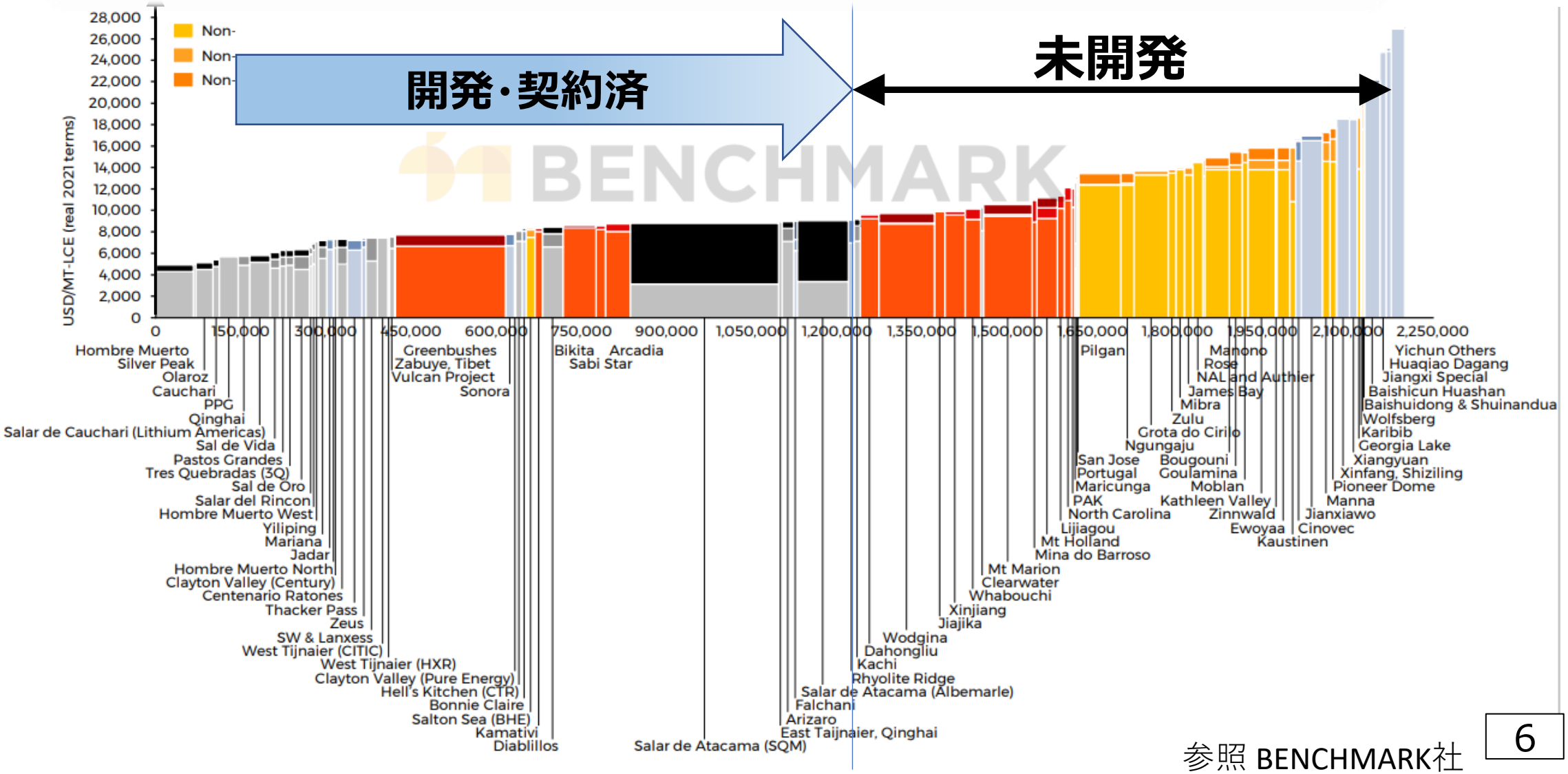
鉱山/精錬への投資は実施中だが、将来需要に対し不十分



リチウム鉱山のコストカーブ

BASC
Battery Association for Supply Chain

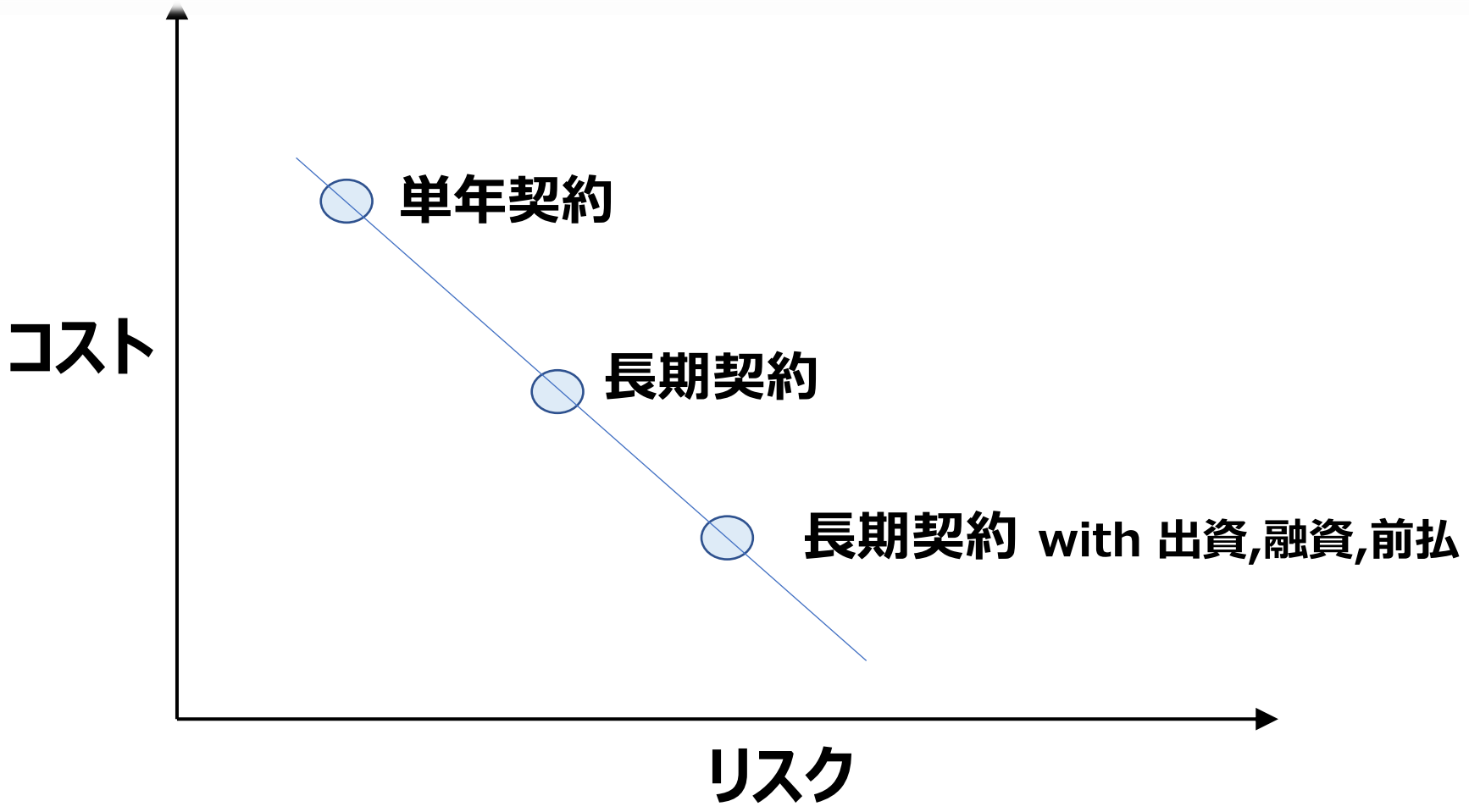
早めの量確保　＝　競争力



参照 BENCHMARK社

資源確保スキーム

**コスト競争力を最大化するために、長期契約・出資を中心に
単年契約を組合せ、リスクもヘッジ**



電池資源確保に対する政府支援の枠組*

BASC
Battery Association for Supply Chain

JOGMEC法改正
権益75-90%出資
1100億円/年

経済安全保障推進法
設備投資 50%助成
1058億円/年

鉱山

精錬

将来はリサイクルにも活用可能

* 令和4年度補正予算「蓄電池関連事業」の一部

BASC
Battery Association for Supply Chain

取組２

電池設備ガイドライン策定の進捗状況

進捗状況：

① **BASC設備安全ガイドライン**及び**必要な機器の例**を作成、公開

② **工程設備標準ガイドライン**の作成に向けた作業を実施中

設備安全ガイドラインの作成、公開

BASCからのお知らせ　2024年03月29日

「BASC設備標準」作成のお知らせ

設備立上の効率化を目的に「BASC設備標準」を作成しました。

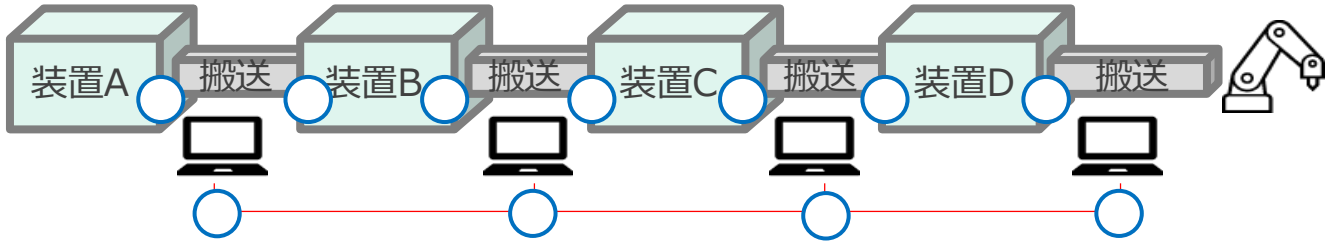
設備安全ガイドライン（初版）

・安全トータルリンクシステム図作成マニュアル（初版）

・機械RAマニュアル（初版）

URL:　https://www.basc-j.com/news/?id=47

インターフェースのガイドラインによる工数削減イメージ



◯: 電池メーカーと装置メーカーとの摺合せ箇所
ガイドラインの活用により、電池メーカーと装置メーカー間の工数削減のみならず、装置メーカー同士の協業を促す

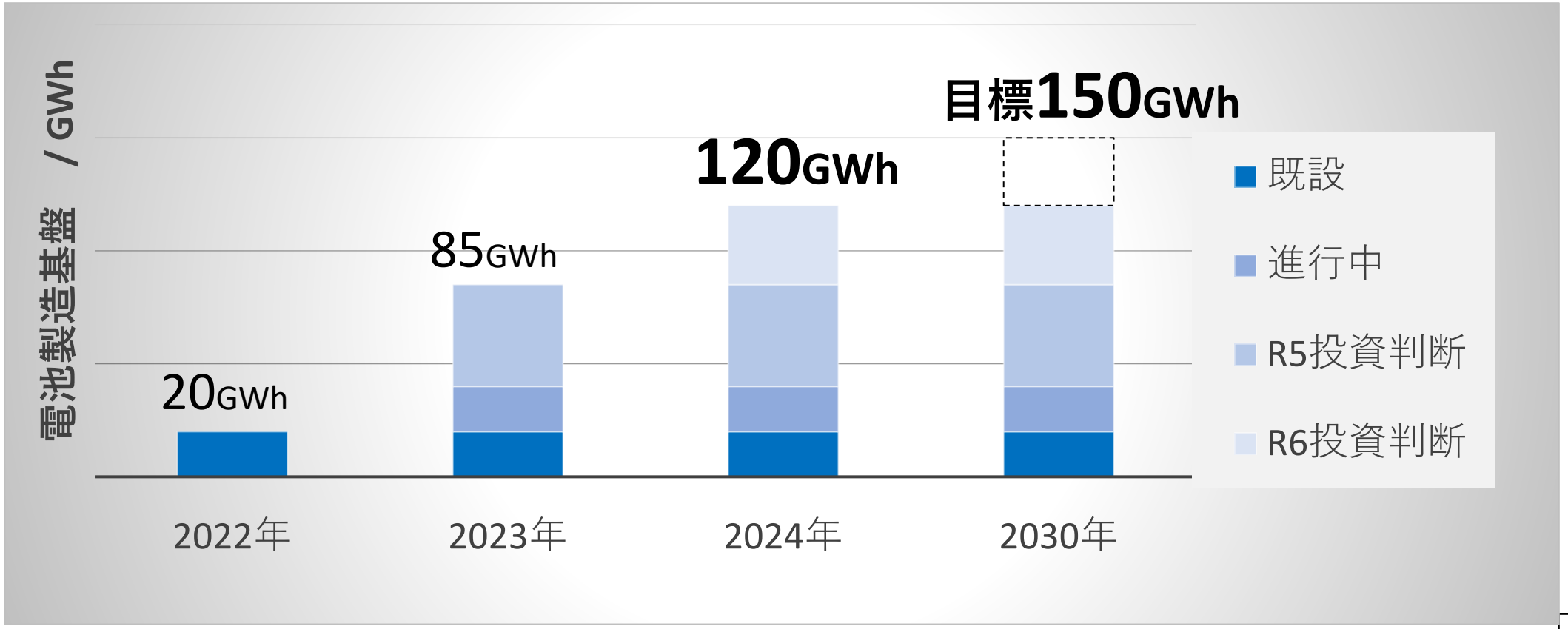
取組３

電池製造・部素材製造への積極投資

政府のご支援を呼び水に、国内製造能力は順調に推移
2024年9月時点で**120GWh**まで積み上げ　(総投資約２兆円※)

※投資総：民間投資＋政府補助

(GWh)



BASC
Battery Association for Supply Chain

取組５

ブラックマス流通の促進

韓国業界団体（KBIA）

KBIA × BASC

米国業界団体(NAATBatt)

NAATBatt INTERNATIONAL × BASC

ブラックマスに関する国際ルール化 →健全な市場づくり

①回収ルート/輸出入　②分類(Classification)　③取引(相場づくり)

国際フォーラム（WBF）、欧州業界団体(RECHARGE)

WBF WORLD BATTERY FORUM

RECHARGE × BASC

取組 6

電池価値向上に向けた情報流通整備

BASC for Supply Chain
Battery Association for Supply Chain

まずは、**電池の個体識別**の基礎情報を整備したうえで
リユース/リサイクルの促進には**電池価値がわかる情報の流通**が有用

基礎情報

- **個体識別**
  - 電池製造番号
  - 搭載車両の車体番号

	価値	情報
リユース ※中古車含む	残性能	SoH(%, 新品比の電池容量) 修復/交換履歴 電池製造年月 充放電回数 (特に急速充電)
	残寿命	
リサイクル	資源量	Li含有量 Ni含有量 Co含有量

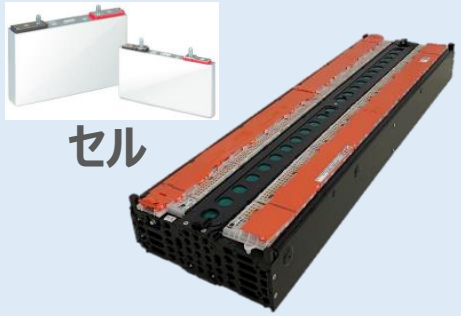
日本版電池パスポートの仕組みづくり

BASC
Battery Association for Supply Chain

目的：電池の個体識別をした上で、価値情報を見える化し、電池エコシステム内で電池の還流を活性化させる

日本版電池パスポート＜BASC案＞

モジュールもしくはセル単位での 個体識別情報＋資源量



個体確認
QR、刻印等

日本版電池パスポート

- 搭載車体番号
- 電池製造番号（モジュール単位）
- 製造者情報
- 製造年月
- 資源量 ※詳細別途

書換え不可 ＆ 許認可必要

データ紐づけ

価値情報

- SoH(新品比の電池容量)
- 充放電回数
- 修復・交換履歴

残性能 残寿命

- CFP/DD※ など

環境対応

※ CFP:カーボンフットプリント、DD:デューデリジェンス

(参考)パスポートとの比較

本人

本人確認
写真＆署名

パスポート

- パスポート番号
- 名前
- 国籍
- 誕生日
- 本籍地
- 性別

データ紐づけ

- 渡航履歴
- 指紋情報
- 各国ビザ
- 犯罪履歴

など

他国の検討状況（BASCと意見交換中）

◎：実施済　〇：検討または実証中　×：未検討

		日本 BASC	韓国 KBIA	欧州 RECHARGE	米国 NATTBatt	中国 CATARC
個体識別＋データ紐づけ		〇	×	〇	〇	〇
価値情報の活用	残性能 残寿命	〇 (事業実証開始)	×	〇	〇	×
	環境対応 (CFP/DD)	◎ (ABtC 運営中)	×	◎ (欧州電池規則)	×	〇

今後の進め方(案)

ステップ１：パスポート掲載情報(個体識別＋資源量)の決定と価値情報との紐づけの仕組みづくり　(～'25/3)

▼

ステップ２：事業実証※による価値情報項目の選定・提案　(～'25/9)

※BASC BaaS拡大TFの取組み
：BEV中古車の残存価値を高め国内還流を促進

▼

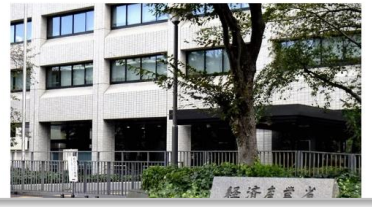
ステップ３：他国と連携しグローバルルール策定

'24.8.29 読売新聞記事

中古ＥＶ市場を育成、重要鉱物の国内循環狙う…官民で電池性能保証サービス導入へ

2024/08/29 05:00　この記事をスクラップする

政府が、電気自動車（ＥＶ）の中古市場の育成に乗り出すことがわかった。電池生産に必要な重要鉱物を中国などから調達していながら、中古ＥＶの８割は輸出されており、重要鉱物が国外に流出していることへの危機感が背景にある。中古電池の性能を保証するサービスなどを導入して、ＥＶの普及を図るとともに中古ＥＶを国内で循環させ、経済安全保障を強化する考えだ。



経済産業省が民間企業を巻き込み、ＥＶの中古市場育成と電池の二次利用の支援を始める。

具体的には、中古ＥＶの電池の品質を保証するサービス作りを官民で進める。電池メーカーが電池の状況を診断し、損害保険会社が車の性

取組 7

電池人材育成・確保スキームの構築の取組①

BASC
Battery Association for Supply Chain

全国5都市で電池講習会を開催 ⇒新規参入を後押し

・内燃機関企業を中心に、**合計138社が参加**

関西蓄電池人材育成等ｺﾝｿｰｼｱﾑへの参画

- 高校・高専・大学向けの教育カリキュラム・教材作成
- 関西の高校・高専等、**25校で授業実施**

電池人材育成・確保スキームの構築の取組②

CEATEC出展による
電池業界プレゼンス向上

・全体来場者の11%に当たる、**約14,200人来場**

・高校、大学、専門学校生、**約400名来場**

‘24/10月＠幕張

Job Fairの実施による
電池業界各社の採用母集団形成

- 電池討論会に合わせ**13社参加**のジョブフェアの実施
- 昨年2800名(内、**学生600名**)が参加

‘24/11月＠京都国際会館

※写真は昨年の会議のもの